

国際資産評価士(事業価値評価)養成プログラム



京都大学

国際的に認知される資格取得に必要な事業価値評価の手法と幅広い経営戦略の立案に役立つ実務を学ぶプログラム



目的

近年、IFRS（国際財務報告基準）の適用拡大や国内外でのM&Aの増加に伴い、合理的で客観的な事業価値を算定できる人材の需要が高まっています。わが国では投資アドバイスを目的とした証券分析に供する事業評価を履修する機会はあるものの、企業の情報開示や経営戦略の立案に役立つ事業価値評価を学ぶ機会は特定の研修プログラムに限られているのが現状です。このため、事業価値評価に対するニーズの高まりとともに、多くの人々が実務遂行のノウハウを身につけ、その能力を証明する仕組みに対する社会的ニーズも増加しています。このような現状を踏まえ、本履修証明プログラムは、国際的に認知される資格取得に必要な事業価値評価の手法と実務を体系的かつ専門的に学ぶ機会を幅広く提供し、国際的に通用する人材を育成することを目指します。

教員

プログラム統括責任者

大庭 哲治 京都大学大学院 経営管理研究部 / 工学研究科 教授
 ファシリテーター

若山 和夫 一般社団法人 日本資産評価士協会 専務代表理事
 教材監修者

Raymond Rath ASA（米国鑑定士協会）上級認定資産評価士
 プログラム運営委員会委員

小林 潔司 京都大学大学院 経営管理研究部 特任教授
 京都大学 名誉教授

藤木 修 京都大学大学院 経営管理研究部 客員教授

村上 啓二 立命館大学大学院 経営管理研究科 教授

協力団体

一般社団法人 日本資産評価士協会（JaSIA）

一般社団法人 京都ビジネスリサーチセンター（KBRC）

プログラム概要

コースⅠ(BV201)	事業価値入門 マーケットアプローチ ・ 事業評価の概要・基礎理論、及びマーケットアプローチ（取引事例法）の実務の履修
コースⅡ(BV202)	事業評価入門 収益法 ・ DCF法を中心とした収益還元法による事業評価実務の習得
コースⅢ(BV203)	積算（アセットアプローチ）による評価、割引及びプレミアム ・ 企業の保有する種々の資産価値の積算による事業評価手法（アセットアプローチ）の実務の修得
コースⅣ(BV204)	事業評価における上級トピック ・ 事業評価が使用される種々の使用目的の理解